

農業B

〔例題1〕 収穫後の作物に対して行われる作業に関する次の記述について、空欄A～Dに該当する語の組合せとして正しいものはどれか。

収穫された作物は、出荷や利用の目的に応じて、様々な調製作業が行われる。

イネでは収穫後、たね^{もみ}粃を乾燥し、粃から玄米をとり出す〔A〕を行う。

ジャガイモやサツマイモでは貯蔵庫内の温度や湿度を調節し、収穫や運搬で生じた傷口をなおし、腐らないようにする〔B〕が行われる。

セイヨウナシやキウイフルーツ、バナナなどでは、成熟を早めるためにエチレンガスで処理する〔C〕が行われている。

このように、収穫後に収穫物に対して行われる作業を〔D〕という。

A	B	C	D
1. 脱穀	オゾン殺菌	追熟処理	モニタリング技術
2. 脱穀	低温暗黒処理	予冷処理	I P M
3. 粃すり	キュアリング	乾熟処理	I P M
4. 粃すり	キュアリング	追熟処理	ポストハーベスト技術
5. 精米	低温暗黒処理	予冷処理	ポストハーベスト技術

【正答4】

農業B

〔例題2〕 いも類に関する次の記述について、空欄A～Eに該当する語の組合せとして正しいものはどれか。

世界のいも類の中で生産量が最も多いのはジャガイモで、世界中で広く栽培され、次いで生産量が多いのは で熱帯や亜熱帯地域で多く栽培されている。

いも類の全乾物生産量はほかの作物と大差はないが、貯蔵器官の形成時期が早く、光合成産物の蓄積期間が長いことから、収穫部位の乾物生産量は大きい。その結果、 は0.6～0.8と禾穀類や豆類の0.4～0.5に比べて非常に高い。

ジャガイモの収穫器官は地下茎の先端が肥大化した で、これをたねいもとして栄養繁殖によって栽培される。

ジャガイモの収量を上げるには、早期に3程度の を確保し、病虫害などによって枯らすことなく長期間維持することが重要である。

国内で栽培されるジャガイモの青果用主要品種は「男爵芋」、「メークイン」などであるが、1918年から品種の育成が始まり、近年は早生でシストセンチュウ抵抗性のある なども栽培されている。

	A	B	C	D	E
1.	サツマイモ	葉面積指数	塊根	収穫指数	農林1号
2.	サツマイモ	収穫指数	塊根	C/N比	インカのめざめ
3.	キャッサバ	葉面積指数	主根	収穫指数	農林1号
4.	キャッサバ	収穫指数	塊茎	葉面積指数	キタアカリ
5.	タロイモ	C/N比	塊茎	葉面積指数	インカのめざめ

【正答4】